

魚津市男女共同参画地域推進員連絡会

イクボスインタビュー

- 日時 11月26日(木)
午後3時～午後4時
- 会場 ユウホー設備株式会社
- 対応 代表取締役 窪田裕志様、
社員2名様



イクボスの思い(宣言した理由や宣言後の取組等)

Q1・イクボス宣言にいたった経緯について教えてくださいませんか？

(窪田社長)

前任の社長の際にイクボス宣言をしています。その時の詳細な経緯については聞いていないのですが、社内のコミュニケーション、会社と従業員とのコミュニケーションをよくすることで、会社全体にイクボスの考えが浸透していけば会社にとっても、社員にとっても良いことではないかと感じております。

このインタビューに際して自分自身がどうだったかを振り返ると家内と休日や働く時間が全く違うため、子供ができてからが大変でした。当時はまだイクボスという考えもなく、今は当たり前にあるような社会制度が整っていない時でした。お互いがフルタイムの勤務を続けていくにはどうしたらいいか、育児に関して家内にまかせっきりにというわけにもいかないのです。家内の都合が悪い時には自分が子供の食事作りや、体調を崩した時の通院なども分担して行いました。かといって仕事もおろそかにできないので、日中仕事を行い18時頃に帰宅して家事育児を行い、夜や深夜にもう一度出社して仕事をするというような、普通とは言えない異常な形で両立をさせていました。

当時制度が無い中で、どうやって子供を育てたらいいかということを経験や同じ子を持つ親同士で協力し話し合っていたという経験が自分の中にあるので、自分や家族の生活と働き方についても、同じように協力しコミュニケーションをとってやっていくというのがイクボスの基本的な考え方かなと思っています。

こうしてイクボスという考え方が世に出ることによって、自分が悩んでいたことが相談しやすくなってきているのではないかなとも思います。



Q2・実際に宣言をされた後、事業所ではどのような取組をされ、その結果どのような効果を感じておられますか？

（窪田社長）

新しく制度を変えたものはあまりないですが、いろいろな事情のご家庭があるので、なるべく休みを取りやすくなるようにしています。休暇の取得率も高いです。

Q3・今後、イクボスとして進めていきたい取組はありますか？

（窪田社長）

来年の休暇制度では、時間休が取れるようにしていきたい。（現在は半日休）この時間だけ抜きたいという要望があるのでそれにこたえられるよう、時間単位で休めるように進めています。

従業員のご意見（宣言後の事業所内の雰囲気など）

Q4・イクボス宣言をされたと聞いてどのように思われましたか？

（社員さん）

イクボス宣言が出た当時、具体的に何かを行うという指示は特になかったのですが、事業所の中でノー残業デーの周知徹底や年次休暇を積極的に取りましようと呼びかけられています。ただ、うちの会社では職場の掲示板にノー残業デーだよという告知はされているのですが、上司から「ノー残業デーだから帰れ」等の声掛けなどはあえて言っていないと思います。社員の自主性に任せるスタイルなのでプレッシャーにならなくて自分としては良いです。

先ほど社長も言っていた休暇の取得率もイクボス宣言の前と比べると増えているという実感もあります。昔はなかなか年間で与えられる有休消化が難しく流れてしまうこともあったのですが、休みたいといったときにダメと言われることもなく、プライベートの都合に合わせて休みが取れます。勿論忙しい時期もあるので残業しなければならないときはあるのですが、その代わりにここで休みたいという希望には柔軟に対応してもらえていると思います。

実際に同僚の男性で育児休暇を取る方もいましたが、まだまだそのあたりは空気が追い付いていないのかなと感じるところもありますが、イクボス宣言によって有休がとりやすくなったなと感じています。

（窪田社長）

形にこだわるのではなくて実際にどう働くかという意識が大切。無理に押さえつける（ノー残業デーを強要する）ことで持ち帰りの仕事があってもよくないので、メリハリを大切にしてほしいと思っています。

Q5・宣言後の事業所内の様子に変化はありましたか？どのような変化があったか教えてください。

（社員さん）

月2回のノー残業デーと19時完全退社などスローガンを掲げて徹底するように頑張っています。昨年度の有給休暇の取得率は75%以上になっています。

完全週休二日制ではないのですが、社長や常務など上司が自ら率先して土曜日にお休みを取ってくれるので、休みがとりやすいし、休みを取りにくいという雰囲気がないのがとても良いことだと思っています。

Q6・このような取組をしてほしいなど、今後に期待することはありますか？

（社員さん）

年間休日数をもう少し増やす方向でお願いしたいです。通常土曜日に有給休暇を取る人が多いのですが、いずれ完全週休二日制になればいいなと思っています。

Q7・どんな環境でも難しさはあると思いますが、工期が決まっている中での取り組みはなかなか難しいですね？

（窪田社長）

我々の現場は建設業設備の下請けみたいな部門もあるので自分たちの自由ですべてを行うわけにはいかないところがあります。ただ、ここ数年少しずつ建設業界も変わってきていて、きっちり休めという雰囲気がでてきています。以前の体制のままでは建設業全体が嫌われてしまって、若い方が働きにきてくれないということで今の流れができています。もっと早くから実施すべきだとは思いますが、やっとそういう雰囲気がではじめました。建設業にも働き方を見直す機

会、イクボスのような制度が浸透していけばありがたいなと思っています。

うちは特に大手じゃなくて小さい会社ですから、一人ひとりの社員が重要です。小規模な企業であるほど社員を大切にしていかないと、という危機感を持っています。今回は主に子育てや育児の話だけでしたが、今後は介護など色んなところに関連していくと思います。企業と各社員、家族を含めた家庭とのつながりを考えていかないと存続は難しいのかなと思っています。

Q8・ユウホー設備さん独自の休暇でユニークなモノがありますよね？

結婚メモリアル特別休暇です。結婚して10年以降結婚記念日で取得ができ、五年ごとに取得できます。結婚しようという気持ちになってもらえればと思っています。

